News Release

コニカミノルタ、リコーリースとバーチャルPPA契約を締結

～インダストリー事業の生産拠点の再生可能エネルギーの利用拡大へ～

2026年11月11日

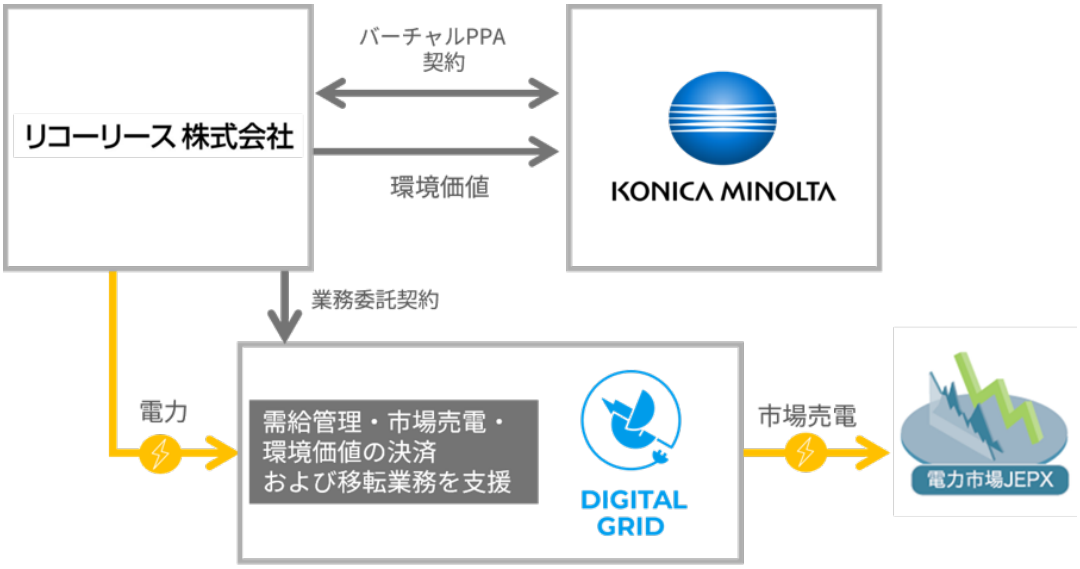
コニカミノルタ株式会社は（本社：東京都千代田区、代表執行役社長兼 CEO：大幸 利充、以下コニカミノルタ）は、リコーリース株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：中村徳晴、以下　リコーリース）と、太陽光発電由来の再生可能エネルギーの環境価値を対象とした価格固定型のバーチャル PPA※1 契約（以下、本契約）を締結しました。

本契約により、インダストリー事業の生産拠点である西神サイトの再生可能エネルギー利用を拡大します。

※1　バーチャルPPAとは、発電事業者が保有する再エネ発電設備が生み出す再エネ電力から、環境価値のみを切り離して取引するコーポレートPPAの一形態。

本契約では、リコーリースが新設する 3 カ所の屋根置き太陽光発電所の環境価値を、当社向けに 20 年間固定価格で調達します。1 カ所目（大阪市）は 2026 年 10 月 15 日に運転を開始し、残る 2 カ所は 2027 年に運転開始予定です。年間約 206.5 万 kWh 相当の環境価値を調達する見込みで、長期的に安定な固定価格型の再生可能エネルギーを確保することができます。

また、発電所の需給管理や市場への売電などは、デジタルグリッド株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：豊田 祐介）が担当します。



コニカミノルタは、長期気候変動ビジョンの元、2050 年製品ライフサイクル CO_2排出量（スコープ 1,2,3）のネットゼロと、脱炭素領域での事業成長と事業創出を通じた社会全体の CO_2排出量の削減貢献拡大を目指しています。そのマイルストーンとして、2030 年度には製品ライフサイクル CO_2排出量を 2018 年度比 36%削減、再生可能エネルギー由来電力比率を 50%まで高めます。

再生可能エネルギーについては、長期的に安定で価格固定な PPA 比率を高めることを方針としており、本取り組みはその方針に合致します。今回の再生可能エネルギー導入により、成長領域として設定するインダストリー事業の再エネ比率を高め、事業活動による温室効果ガス排出量削減を進めながら事業成長を図っていく施策として位置づけております。

コニカミノルタは、今後もバーチャル PPA など多様な手法を活用し、環境負荷低減と企業成長の両立を図りながら、持続可能な社会の実現を目指します。

――――――――――――――――― 報道関係お問い合わせ先 ―――――――――――――――――
コニカミノルタ株式会社　広報部
担当：西上、蓬田 03-6250-2100